

# 医療 × 労働 Ⅱ 職場

ブリッジ 第18回研究会



## AYA世代の

待ちに待った  
リトライ企画

## 就労を考える

2022年 2月20日(日) 13:00~16:00

安心&安全  
優先の

### Zoom開催

会場参加が可能な状況になれば  
ハイブリッド開催への切り換えを検討します

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジでは、医療従事者と企業関係者が垣根を越え情報や問題を共有し、多様性に富む労働環境を構築することを目的に、毎回異なるテーマで専門の立場からのレクチャーと会場のディスカッションで構成する研究会を開催しています。

18回のテーマは「AYA世代の就労を考える」です。およそ15歳以上40歳未満の思春期・若年成人をAYA (adolescent and young adult) 世代と呼びます。第3期がん対策推進基本計画では、AYA世代のがんへの取り組みが明記されました。どの年代においても、がんの罹患・治療は就労をはじめとする日常生活に大きな影響を及ぼしますが、年代やライフステージによる特有の悩み事というものも生じます。厚労省科研費「思春期・若年成人 (AYA) 世代がん患者の包括的ケア提供体制の構築に関する研究」班の研究代表者の清水千佳子先生に、AYA世代ならではの就労への影響や課題について学びを深める機会をいただきます。

さまざまな立場からの発信で場が活性化し、議論が深まり、具体性のある方策を共に見出していくコミュニティとして発展することを願っています。

### 今回のPoint

- 昨年5月、感染症拡大に伴い中止となった満席御礼のプログラムが再び!
- 厚労省指針「がんとの共生」に「ライフステージに応じたがん対策」として重点課題となっているAYA世代を取り上げます

- 対象 医療従事者、企業関係者、キャリアコンサルタント・社労士 など  
仕事と治療の両立支援に携わっている方・これから携わろうとする方
  - 料金 ブリッジ会員:無料 非会員:2,000円  
※ 申し込みと同時の入会 (5,000円/年会費) も可能です
  - 会場 ウィンクあいち 1208 会議室
  - 定員 24名
  - 申込 <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01h9b14m3bi11.html>  
※ 申込専用サイト「パスマーケット」からお申込みください (クレジットカード決済)  
※ ブリッジHP (裏面参照) からリンクします
- 一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジ
- 主催 愛知県、名古屋市、名古屋市医師会
  - 後援 赤い羽根共同募金 (ブリッジ研究会は配分金事業で実施しております)
  - 協力



# の多様性の構築

# 第18回テーマ 「AYA世代の就労を考える」

## ① AYA世代の就労について



清水 千佳子 しみず ちかこ

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター  
国立国際医療研究センター病院  
がん総合診療センター 副センター長  
乳腺・腫瘍内科医長

### 【略歴】

1996年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業。東京医科歯科大学医学部第2外科、国立がんセンター中央病院を経て、2019年5月より現職。

専門領域は乳癌薬物療法。進行再発乳癌を中心に乳がん患者の診療や治療開発に携わりながら、がん患者の妊娠・出産に関する診療ガイドラインを作成するなど、がん患者のサバイバーシップの支援に力を注いでいる。

2014年 あげぼの会 Doctor of the Year 受賞。

【メッセージ】AYA世代のがんとその治療は、その人の日常生活やライフプランに大きな影響を与え、本人には待ったなしの対応が求められます。就労における問題もその一つ。患者のライフステージに応じたきめ細かな支援を提供していくためには、医療機関内外のさまざまな医療従事者・支援者が連携することが求められます。がんとともに働くことについて、AYA世代に特有の課題に着目して考えていきましょう。

## ② グループディスカッション&全体共有

### ▶▶▶ 団体紹介

一般社団法人 仕事と治療の両立支援ネット-ブリッジは、がんをはじめとする有病者の就労支援を実施する団体です。国家資格キャリアコンサルタントを中心として、病気を経験した人がどのように職場との協調関係を築きながら働くかという、個人と組織のダイナミズムに着目した支援を実施します。患者向けの個人面談、ワークショップ、就活セミナー、また企業向けの労働衛生管理者セミナー、企業内がん教育、復職時の個別調整支援などを行っています。

URL <https://bridge-nagoya.jp/>

仕事 治療 ブリッジ



### ▶▶▶ ブリッジ研究会について

この研究会は、医療と労働の垣根を越えて、互いに知っているようで知らない現場での不安や困りごとを共有し、現実に即した方策を見出す目的で、3ヶ月に1回程度の開催を予定しています。がんやそれ以外の病気、社会的な制度や精神的なケアなど、各回1つのテーマについて深めていきます。

### ▶▶▶ 入会のご案内

ブリッジは、社会の中で医療や労働の現実を踏まえた新しい価値や仕組みを創造することを目指しています。治療のその先に希望を持てる人生を具現化するために、みなさまの力を貸していただきたいと願っています。会員となって活動を支えるとともに、研究会活動を通じて病気になっても安心して暮らせる社会をもにつくっていきませんか？(研究会当日の入会も可能です)

- 一般会員:仕事と治療の両立支援に取り組む個人(研究会に参加できます)【年会費5,000円】
- 賛助会員:当団体の活動を応援していただける個人・法人【年会費1口3,000円×口数】

## 赤い羽根共同募金



本事業は赤い羽根共同募金の配分を受けて実施しています



日本対がん協会



ブリッジは、日本対がん協会の協力により、休眠預金を活用した「がん患者支援の助成金事業」として、医療と労働が連携した支援を実現するために活動しています。